

高齢者の終末期の療養状況と医療・介護連携体制の評価

京都府立医科大学大学院 医学研究科 地域保健医療疫学では、京都府のレセプトデータベースを用いた地域医療構想に関する臨床研究を実施しております。

実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

・ 研究の目的

我が国では高齢化の進行に伴い、高齢者終末期における医療・介護需要の増大が大きな社会課題となっています。特に、複数の慢性疾患を併存する高齢者では、終末期に入退院、介護サービス利用、施設入所などを繰り返しながら、医療・介護双方の需要が増加することが知られていますが、終末期における医療費および介護費が、死亡前のどの時期から、どの程度増加し、その推移がどのような疾患特性によって異なるかについては、十分に明らかにされていません。

本研究では、京都府の医療・介護レセプトデータを用いて、75 歳以上高齢者の死亡前 5 年間ににおける医療費および介護費の推移を解析するとともに、併存疾患の有病特性に基づいて、疾患群ごとの医療・介護需要の特徴を明らかにすることを目的とします。さらに、入院日数、施設入所日数、要介護度等を併せて評価することで、高齢者終末期における医療・介護需要の全体像を把握します。本研究結果により、地域医療構想や地域包括ケアシステムにおける医療・介護連携体制、資源配分の最適化に資する知見が得られることが期待されます。

・ 対象となる方について

2013 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に、京都府の国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している方のレセプトデータを対象とします。

・ 研究期間：医学倫理審査委員会承認後から 2029 年 3 月 31 日

・ 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：医学倫理審査委員会承認日

・ 方法

2013 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの京都府の国民健康保険および後期高齢者医療制度のレセプトデータより、75 歳以上で死亡した患者のうち、5 年以上を追跡できる人を

対象とします。死因になり得る疾患、併存する基礎疾患、入退院の経過、介護需要、療養場所の推移を可視化、定量化し、医療費、介護費、医療資源との関連を評価します。また京都府の地域別に評価をおこない、地域医療構想や地域包括ケアシステムに生かすための分析をおこないます。

- ・ **研究に用いる情報について**

患者の基本情報(年齢、性別、居住地(保険者市町村))

罹患している疾患、観察期間に行われた診療行為(検査、薬剤、処置、手術など)

入退院の状況(入院経路、退院先、死亡転帰など)

要介護度、利用された介護サービス

療養場所(病院、介護施設、在宅)

死亡に関連する情報(レセプトの転帰、死亡診断加算など)

医療機関、介護施設の情報

- ・ **個人情報の取り扱いについて**

本研究で用いる情報は、京都府が保有する「京都府 健診・医療・介護総合データベース」です。本データは、すでに匿名化されており、個人を特定することができないため、特定の方のデータのみを削除することはできません。

データはデータセンター内に厳重に管理され、外部ネットワークと接続されていない専用端末で解析します。

- ・ **研究資金及び利益相反について**

利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等に当たって管理されています。本研究は大学運営交付金(教室費)により実施します。本研究の実施にあたり、開示すべき利益相反はありません。

- ・ **研究組織**

研究責任者:

京都府立医科大学 大学院医学研究科 地域保健医療疫学リアルワールドデータ研究支援部門

特任助教 石田真美

研究代表(統括)者:

京都府立医科大学 大学院医学研究科 地域保健医療疫学 教授 高嶋 直敬

研担当者:

京都府立医科大学附属病院 医療情報部 准教授 猪飼 宏

お問合せ先

所属名:地域保健医療疫学 リアルワールドデータ研究支援部門

職名・氏名:特任助教 石田真美

電話番号:075-251-5799、e-mail:mice@koto.kpu-m.ac.jp

受付時間:10 時～16 時